1章・1節　数列

組	番号	名　　前

①　数列
②　等差数列
③　等差数列の和

1　次の$\boxed{}$をうめよ。$\boxed{\text{知}}$

(1)　数列において，その各数を$\boxed{}$といい，最初の数を$\boxed{}$(第1項)という。

(2)　数列 $\{a_n\}$ の第 n 項 a_n を n の式で表したものを$\boxed{}$という。

(3)　項の個数が有限である数列を$\boxed{}$という。このとき，項の個数を$\boxed{}$，最後の項を$\boxed{}$という。また，項の個数が有限でない数列を$\boxed{}$という。

(4)　初項 a から始めて，一定の数 d を次々に加えて得られる数列を$\boxed{}$といい，d をその数列の$\boxed{}$という。
初項 a，公差 d の等差数列 $\{a_n\}$ の一般項は

$$a_n=a+\boxed{}\,d$$

と表される。

(5)　初項a，公差d，項数 n，末項 l の等差数列の和を S_n とすると

$$S_n=\frac{1}{2}\boxed{}\left(\boxed{}+l\right)$$
$$=\frac{1}{2}\boxed{}\left\{\boxed{}\,a+\boxed{}\,d\right\}$$

と表される。

2　次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を推定せよ。$\boxed{\text{考}}$

(1)　$\frac{1}{2}$，$\frac{3}{4}$，$\frac{5}{6}$，$\frac{7}{8}$，…

(2)　$2\cdot1$，$4\cdot4$，$8\cdot9$，$16\cdot16$，$32\cdot25$，…

3　初項 5，公差 2 の等差数列 $\{a_n\}$ について，次の問に答えよ。$\boxed{\text{技}}$

(1)　一般項を求めよ。

(2)　第 15 項を求めよ。

4　第 4 項が 10，第 10 項が -14 である等差数列 $\{a_n\}$ について，次の問に答えよ。$\boxed{\text{技}}$

(1)　初項 a と公差 d を求めよ。

(2)　-50 は第何項か。

5　次の等差数列の和を求めよ。$\boxed{\text{技}}$

(1)　初項 2，公差 5，項数 13

(2)　12，9，6，…，-9

(3)　1 から 200 までの自然数のうち，3 で割ると 2 余る数を小さい順に並べた数列

6　初項が 4 で，初項から第 6 項までの和が 114 の等差数列について，次の問に答えよ。$\boxed{\text{技}}$

(1)　公差を求めよ。

(2)　初項から第何項までの和が 310 になるか。